

I 事業実績

1 奨学金貸与事業

(1) 奨学金の貸与

令和3年度は、14人（うち新規は6名）の奨学生に月額10万円、総額1,530万円を貸与した。

(2) 返済金の受領

既貸与者のうち26名から1,016万円（1名は繰り上げ全額返済）の返済を受けた。

(3) 新規奨学生の募集

令和4年度に支給する奨学生の募集については、令和3年4月中旬から県内の県・市・私立高校64校に募集要項等の資料を配布するとともに、ホームページにおいての募集活動を開始しました。

あわせて大学在学学生を対象とした募集活動も大学・短期大学へ募集要項を配布しました。

その結果、締切日の2月28日までに新規入学生1名の応募があり、また大学在学学生も年間を通じて1名の応募がありました。その都度選考委員会を開催し、慎重に審議した結果、1人の支給者を決めました。

～参考～奨学生内訳（令和4年3月時点）

奨学生	14名（うち新規3名）
奨学生修了者	1名
（返還猶予者）	
返還者	25名（うち新返還者2名）
全額返納者	13名
○合計	58名

*奨学生～現在大学または大学院に在学中で奨学金を貸与されている者。

*奨学終了者（返還猶予者）～新たに大学または大学院を卒業した者で、返還が1年後から始まる者。

*返還者～現在返還中である者。

*全額返納者～貸与金額をすべて返還した者。

2 正味財産の状況

(1) 経常収益

経常収益は有価証券運用益が主なもので3,569千円となり前年同期比44千円の減収となった。

(2) 経常費用

経常費用は通常の財団運営費用などにより4,182千円となった。これは前年同期比277千円の減少となった。

(3) 当期経常増減額

有価証券の為替差益(444千円)を加味し、当期経常増減額は△463千円となり前年同期比で1,200千円の増加となった。

(4) 経常外増減額

有価証券売却損240千円により3,390千円の増収となった。

(5) 一般正味財産残高

一般正味財産残高は期首より804千円減少して180,363千円となった。

正味財産減計算書

(単位；千円)

科目	令和3年度	令和2年度	増 減
経常収益	3,570	3,614	△44
経常費用	4,182	4,560	△277
調整前経常増減額	△907	△1,211	202
評価損益	444	△554	998
経常増減額	△463	△1,765	1,201
経常外増減額	△82	△3,630	3,390
一般正味財産	180,363	180,909	△805
指定正味財産	241,977	241,977	0
正味財産	422,340	422,886	△804

3 組織運営・管理について

(1) 役員会などの運営について

1 理事会

開催年月日	議 事 内 容	会議の結果
R 2 . 6 (書面議決)	・第28期 (R3.3.31まで) 事業報告書及び 収支決算書の件 (報告事項) 固定資産の取得	原案通り承認へ
R 3 . 1 . (書面議決)	・第29期 (R5.3.31まで) 事業計画書及び収 支予算書の件 ・奨学金貸与規程の改正 (報告事項) ・令和2年度上半期事業報告	原案通り承認へ

2 評議員会

開催年月日	議 事 内 容	会議の結果
R 2 . 6 . 24	・第27期 (R元.3.31まで) 事業報告書及び 収支決算書の件 ・理事の改選の件 ・特別費用準備金の設定の件	原案通り承認へ
R 3 . 1 . 15	・第29期 (R4.3.31まで) 事業計画書及び収 支予算書の件 ・理事の補欠選任の件 ・評議員の補欠選任の券 (報告事項) ・令和2年度上半期事業報告	原案通り承認へ

3 奨学生選考委員会

開催年月日	議事内容	会議の結果
R4. 3 R3. 3.	・令和4年度支給の奨学生の選考 ・同上	1名の推薦決定 最終～ (1名の決定)

(2) 財産運用・事務処理などについて

財団の安定的運用のため、有価証券運用規程をふまえ、財産状況を考慮し、安全性を重視しながら投資を行った。また財団の運営に関する事務処理のないし経理の適正化に努めた。

3 その他

財団の活動（奨学金制度など）の一般的普及、広報を幅広く図るため、ホームページを一新するとともに財団パンフレットを新たに作成し、各高校に送付した。また学校関係者と面談し、制度への理解と意見要望について聴取した。